

「消防緊急通報受付指令システム」が更新

365日24時間 市民の安全を守るために・・・

安心・安全を守るために災害にいち早く対応できる「消防緊急通報受付指令システム」が3月1日から運用開始されます。このシステムは、最新のコンピューターを活用した高度な機能を備えています。携帯・IP電話等発信位置情報通知システムなど、消防・救急活動でもっとも重要な初動体制の強化を図るための各種機能を備えています。災害による被害の軽減と救急救命効果の向上にも貢献できるものです。

通報電話から場所を特定

昨年1年間の119番通報は、1,882件で、そのうち携帯・IP電話からの通報が299件と全体の16%を占めています。

携帯電話による通報では、地理に詳しくない方や市外の方など災害発生場所が不明のまま通報せざるを得ない場合があります。

新指令システムは、GPS（衛星を使った全地球測位システム）機能付き携帯電話（第3世代携帯電話）からの通報を誤差の少ない精度の高い位置情報で取得でき、早期に現場に出動することが可能です。また、IP電話（インターネット技術を使った電話）からの通報も同様に発生場所を早期に確認することができます。

通報中でも出動指令

これまでのシステムでは、119番通報受理から通報内容を全て聞き終わってからでないと出動指令ができませんでした。新指令システムでは、コンピューターによる自動指令システムとなるため、119番通報受信中であっても出動指令が可能となり、出動時間の短縮が図られるものです。



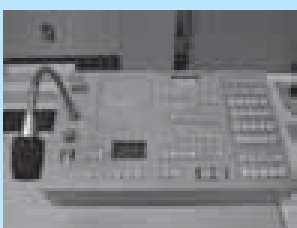
署所端末装置一式

風連出張所に指令システムから火災や救急等の自動音声指令を受信し、出動指令を行います。その時に音声指令と共に地図が記載された指令書がプリンタから排出され、発生場所をいち早く確認することができます。この署所端末装置一式には、万が一の停電などに備え非常電源装置が装備されています。



駆け込み通報装置

風連出張所の玄関内に「駆け込み通報装置」が設置され、災害などに出勤中（不在）であっても通信指令室に直接電話ができ、緊急通報をすることができます。



無線サイレン吹鳴装置

この装置は、職員や団員の招集用に使用するもので、合併前の名寄と風連にそれぞれ設置されていたものを本署で別々に使用してきましたが、老朽化が著しく今年度更新しました。この装置が1つになったことで、より一層効果的に運用できるようになりました。